

ON YOUR SIDE REPORT

2023.6

京都中央信用金庫の現況

2023年度第1四半期（2023年4月1日～6月30日）における経営情報を開示いたします

京都中央信用金庫の概要（2023年6月30日現在）

本社所在地	京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地		
創立	1940（昭和15）年6月18日	会員数	229,372人
預金・譲渡性預金	5兆2,709億円	出資金	195億円
貸出金	3兆2,280億円	店舗数	133店舗
職員数	2,506人		

（注）この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数につきましては、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。なお、内容や諸計数については、会計監査人の監査を受けておりません。本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。



TOPICS

2023年4月1日～6月30日

4月

- 企業内大学「京都中信コーポレートユニバーシティ（KCCU）」を設立
- 京都市への「社会的に養護を必要とする子どもたちへの支援」を継続
- 「石本正 一線に込める想いー」開催（中信美術館11日～5月31日）
- 第142回「中信禅サークル」『天龍寺』開催

5月

- 信用金庫全国初 株式会社日本M&Aセンターと「TOKYO PRO Market上場支援」に関する業務提携契約を締結
- 情報系端末を刷新し全2,500台にNECの顔認証技術を搭載
- 「京都中信カーボンニュートラルサポートローン」の取扱開始
- 第36回「京都美術文化賞」受賞者決定
◀受賞者>北山 善夫氏（絵画・彫刻）、岸 映子氏（陶芸）、西山 美なコ氏（現代美術）

6月

- 常務理事 植村 幸弘 専務理事就任
常務理事 橋本 秀哉 専務理事就任
理事 井上 克巳 常務理事就任
理事 岡田 豊 常務理事就任
理事 高瀬 泰治 常務理事就任
- 「京都中信電子契約サービス」の取扱開始
- 「京都ジョブ博2023」開催
- 事業者向けWebサイト「中信ビジネスポータル」の取扱開始
- 資金繰り管理サービス「中信エメラダ資金管理」の提供開始
- 金融機関初 スキマバイトアプリ「シェアフル」と提携
- 京都府下京警察署にインフォメーションディスプレイを寄贈



京都中信コーポレートユニバーシティ（KCCU）

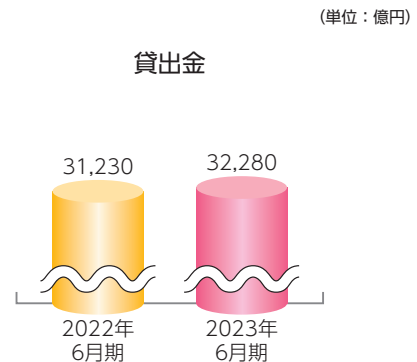
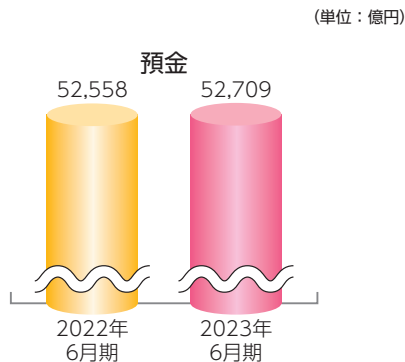


京都ジョブ博2023

預金・貸出金の状況

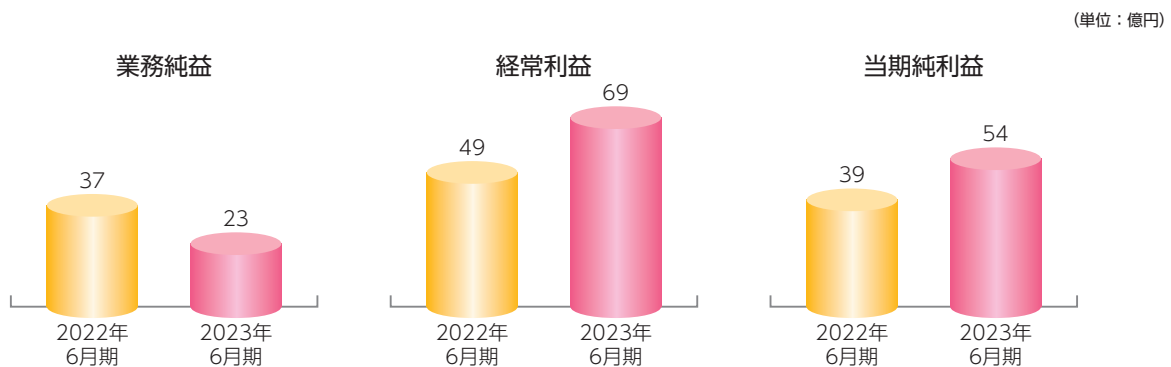
預金残高は、個人預金・法人預金が順調に推移した結果、前年同期比150億円増加し、5兆2,709億円となりました。

貸出金残高は、地元中小企業者や一般個人のみなさまへの円滑な資金供給に積極的に努めた結果、前年同期比1,049億円増加し、3兆2,280億円となりました。



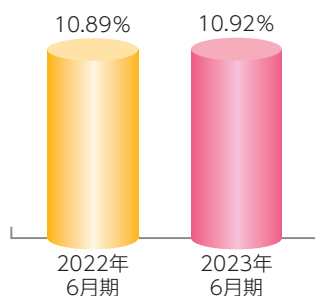
損益の状況

2023年6月期における業務純益は、前年同期比13億円減少し23億円となりました。経常利益は前年同期比20億円増加し69億円、当期純利益は同14億円増加し54億円となりました。



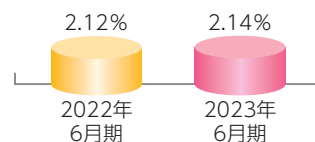
自己資本比率の状況〈単体〉

2023年6月期の自己資本比率は、内部留保額を順調に積み上げたこと等から、前年同期比0.03ポイント上昇の10.92%となり、国内基準4%を大きく上回っております。



開示債権の状況

2023年6月期の金融再生法開示債権のうち正常債権を除いた合計額は691億円、金融再生法開示債権全体に対する比率は2.14%となりました。



(注) 本ページの預金には譲渡性預金を含みます。

預金・貸出金の状況

(単位：億円)

	2022年6月期	2023年6月期	増減
預 金 (A)	52,558	52,709	150
貸 出 金 (B)	31,230	32,280	1,049
預 貸 率 (B÷A)	59.42%	61.24%	1.82%

(注1) 預金には譲渡性預金を含みます。

(注2) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

損益の状況

(単位：億円)

	2022年6月期	2023年6月期	増減
業 務 純 益	37	23	△13
経 常 利 益	49	69	20
当 期 純 利 益	39	54	14

(注) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

自己資本比率の状況 (単体)

(単位：億円)

	2022年6月期	2023年6月期	増減
自 己 資 本 額 (A)	2,893	3,021	127
リスク・アセット等 (B)	26,561	27,647	1,085
自 己 資 本 比 率 (A÷B)	10.89%	10.92%	0.03%

(注1) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（2006年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

(注2) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

開示債権の状況

(単位：億円)

金融再生法による 開 示 残 高	2022年6月期	構成比	2023年6月期	構成比	増減
破産更生債権及び これらに準ずる債権	78	0.25%	88	0.27%	9
危 険 債 権	546	1.74%	542	1.68%	△3
要 管 理 債 権	39	0.13%	60	0.19%	21
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	39	0.13%	60	0.19%	21
小 計	664	2.12%	691	2.14%	26
正 常 債 権	30,644	97.88%	31,658	97.86%	1,013
合 計	31,309	100.00%	32,349	100.00%	1,040

(注) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。